

競技上の諸注意

1 競技規則

本大会は、平成28年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則によって行う。

2 競技時間

- (1) 全種別で30分(前半)－15分(休憩)－30分(後半)とする。同点の場合は第一延長まで行い、それでも同点の場合は7MTC(5名)とする。
- (2) 全会場で、加算式の電光掲示時計を使用する。
- (3) チームタイムアウト及び競技終了の合図は、ブザーまたは笛で行う。
- (4) 退場者については、退場者電光掲示板で番号と退場時間を表示する。表示が「0:00」になれば入場できる。記録席からの指示はしない。
- (5) 競技は原則開始時刻通りとする。

3 大会使用球

(公財)日本ハンドボール協会の検定球を使用する。

4 競技会場

- (1) 全ての競技会場が競技規則に定められた40m×20mの広さのコートである。
- (2) 館内は必ず体育館シューズを使用し、外履きとの区別をはっきりさせること。
- (3) 両面テープのみ使用可。松やに・松やにスプレー等の使用は禁止する。また、松やにの付いた練習球も使用不可とする。
- (4) 粘着スプレー等は、けが等で使用する以外はバッグ等に収納しておくこと。
- (5) 競技中交代地域でのボールの使用は禁止する。ボールはケース等に収納すること。
- (6) 全会場とも、入館時間は、午前8時00分とする。
- (7) ウォーミングアップは指定された場所で行うこと。外で行う時は、外履きで行うこと。

5 トス・ユニフォームの確認等

- (1) 第一試合のトスは、試合開始の30分前。第二試合以降は前試合のハーフタイムに行う。
- (2) ユニフォームは胸に県名を入れた、濃・淡2着以上(3着まで申込み可)を用意すること。
- (3) ユニフォームの確認は、トスの時に行う。その際に、大会に登録した全てのユニフォームを持参すること。
- (4) チーム役員・選手はユニフォーム確認時に日本協会登録証を一括提出し、試合直前には審判員から本人の確認を受ける。

6 参加資格等について

- (1) 代表者会議で決定したチーム役員・選手のみが競技に参加できる。
- (2) ベンチはチーム役員4名、選手12名である。役員登録されていないトレーナーについては、ベンチ後方の指定場所に待機しても良いが、ベンチ・コート内には入れない。
- (3) ベンチに入る役員には、オフィシャルよりIDカードを配布する。また、監督は「A」のIDカードを胸につける。
- (4) チーム責任者は、試合開始前に、チーム役員名及び選手の氏名と番号が正しく記載されているか確認し、サインをする。

7 裁定委員会及びJHAオフィシャル・TD

- (1) 本大会に裁定委員会を置き、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長その他大会役員関係者をもって委員会を構成する。必要があれば関係者（当該チームの選手を含む）を同席させるケースもある。
- (2) 裁定委員会は、本大会において発生した全ての問題について審議し、その対応を決定する機関である。
- (3) 本大会全ての試合に、JHAオフィシャル1名及びTD2名を置く。

8 諸注意

- (1) 体育館の電源の使用は禁止する。
- (2) 体育館の使用に際しては、各都県代表選手としての自覚と誇りを持って行動すること。
- (3) 車は定められた駐車場に駐車し、路上駐車などは絶対にしないこと。
- (4) 試合終了後、選手はコート上横一列に並びあいさつをし、交互に相手ベンチ前へ移動する。

9 その他

- (1) 開始式について
 - ・開始式は、代表者会議に出席した代表者が参加して行う。
- (2) 認定証について
 - ・代表決定戦の勝利チームに通過認定証を授与する。
 - ・認定証の授与は、試合終了後、各コートの指定場所で行う。
 - ・チームは指定場所に横一列で並び、代表者は通過認定証を受ける。
(対戦チームは、ベンチで着席をお願いします。)
- (3) スコアシートについて
 - ・試合後、両チームに配布するスコアシートの写しは、次の試合のハーフタイムにチーム代表者（役員・選手等）が、各会場の指定場所に受け取りにくる。
- (4) 各試合会場について
 - 別紙の「会場について」による試合会場ごとの注意事項に従い、行動・対応をすること。